

CASBEE[®]新潟 | 評価結果 |



■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築(簡易版)2008年版
 ■使用評価ソフト: CASBEE新潟(v.1.2)

1. 建物概要

建物名称 建設地 用途地域 建物用途 竣工年 敷地面積 建築面積 延床面積 階数 構造 評価の段階 評価の実施日	セキュリティサイクル研究所倉庫棟 北区 笹山東97他6筆 準工業地域 工場, 2012年7月 予定 13,463.86 m ² 2,677.06 m ² 2,667.70 m ² 地上1F S造 実施設計段階評価 2012年1月30日	
---	---	--

2. CASBEE新潟の評価結果

	B+	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{40}{36} = 1.1$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 誰もがずっと安心して生活するために	3.0		バリアフリー	Q2.1.1.3 -
			維持管理	Q2.1.3 -
			更新性	Q2.3.3 3.0
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産、思い出を守るために	3.0		耐震・免震	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 3.0
3. 大雨への取組み 大雨につよいまちづくりのために	2.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 2.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	3.0		建物の熱負荷抑制	LR1.1 -
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	3.5		節水	LR2.1.1 -
			リサイクル材の使用	LR2.2.4 3.0
			再利用可能性向上	LR2.2.6 4.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな田園空間を次世代に引き継ぐために	1.5		生物環境の保全・創出	Q3.1 1.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 2.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の魅力を伝承・創造していくために	2.0		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 3.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 1.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

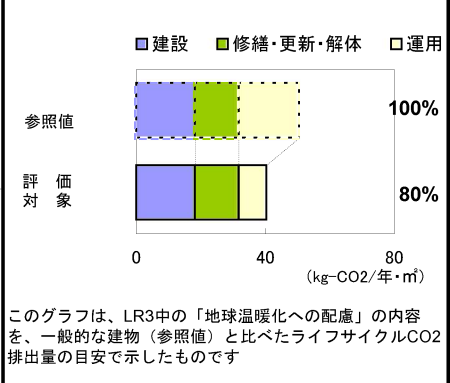
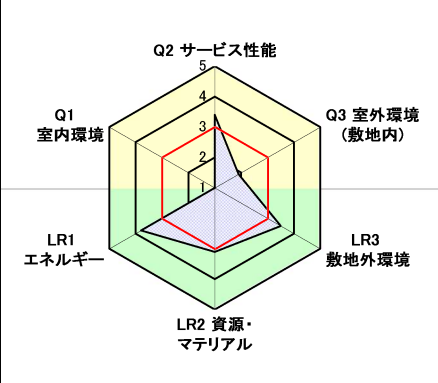
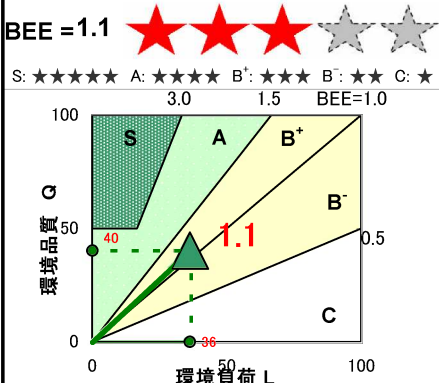
新潟市の重点項目に関する配慮事項を記載してください。
 資源循環の取組み…内装材と設備が錯綜せず、解体・改修・更新の際に、容易にそれぞれを取外すことができ、部材の再利用可能性向上を図る。

CASBEE[®]新潟

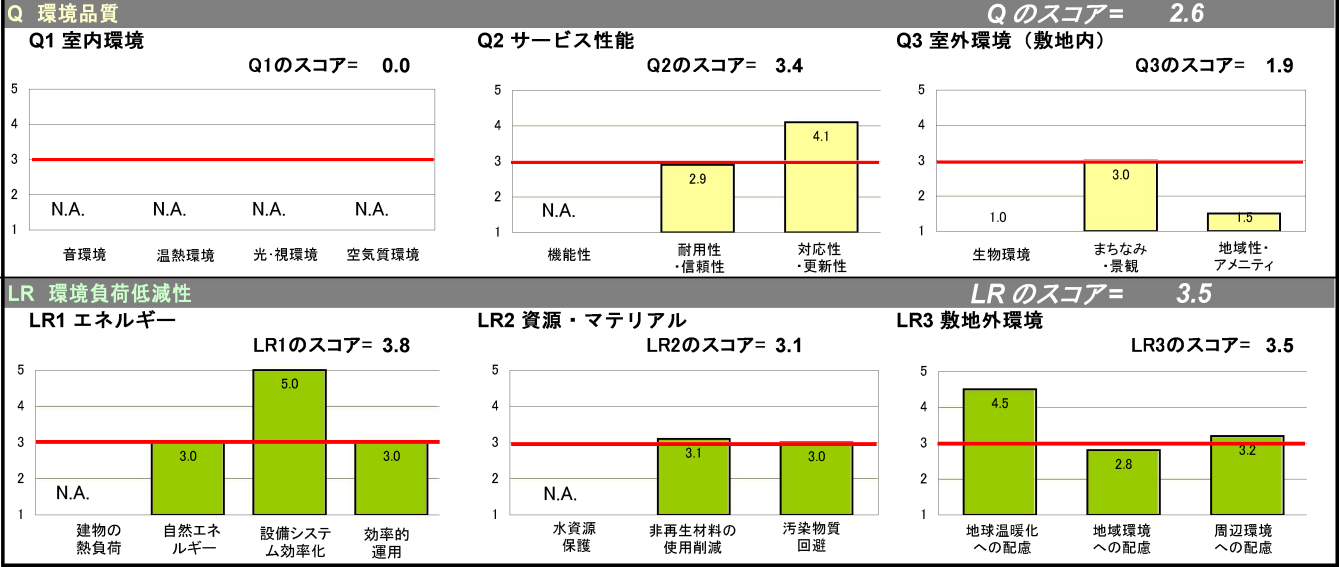
評価結果内訳

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアル、CASBEE-新築 (簡易版) 2008年版 使用評価ソフト: CASBEE新潟 (v.1.2)

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート) **2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)** **2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)**



2-4 中項目の評価 (バーチャート)



2-5 設計上の配慮事項

総合 隣接する既存建物との調和を図り、次世代省エネを意識した照明計画などで環境性能向上を図る。		その他
Q1 室内環境 用途が倉庫(居住エリアが無い)のためQ1(室内環境)は評価対象外。	Q2 サービス性能 ゆとりのある階高と適切に配置されたブレースで自由度が高い空間を確保。また、床荷重については基準の3,900N/㎡に対して24,000N/㎡で計画。	Q3 室外環境 (敷地内) 隣接する既存建物と色彩の調和を図り、周辺景観に配慮する。
LR1 エネルギー 「省エネ」「省資源」の機能を高めた次世代照明器具を積極的に採用し、照明エネルギーの削減を図る。	LR2 資源・マテリアル フロンハロンに該当した消火設備を使用しない。	LR3 敷地外環境 大気汚染防止、交通負荷抑制、騒音・振動・悪臭など周辺環境に配慮。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■ LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい